国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和８年11月13日
中部地方整備局港湾空港部
第四管区海上保安本部
愛知県
蒲郡市

大規模な地震発生後、港の物流をどう再開するのか

発災から緊急物資輸送までを再現する実働防災訓練を三河港で実施

～伊勢湾の港湾機能を早期に回復する関係機関の連携を強化～

南海トラフ地震の発生により、伊勢湾や港内に漂流物や沈降物が発生し、船舶が航行できなくなった状況を想定して、三河港において実働防災訓練を実施します。

大規模災害時、道路や鉄道が被災した場合、港湾は被災地へ救援物資や復旧資材を届ける重要な拠点となります。そのため、港の被害状況を早期に把握し、船舶が安全に入港できる航路を確保することが必要です。

本訓練では、ドローンによる上空からの確認、潜水士による水中調査、マルチビームソナーを用いた海底測量など、複数の調査手段を組み合わせて港湾の被害状況を確認します。さらに、海洋環境整備船「白龍」、起重機船「徳龍」、巡視艇「あゆづき」などが参加し、漂流物・沈降物の撤去から緊急物資輸送まで、港を再び利用できる状態に戻すための現場対応を実施することで関係機関の連携強化を図り、災害対応能力・実効性の向上に繋げます。

1. 日　　時：　令和8年11月26日（木）9時30分～11時30分（予定）
（予備日：令和8年12月18日（金）9時30分～11時30分）
2. 主　　催：　伊勢湾ＢＣＰ協議会、三河港ＢＣＰ協議会、蒲郡市
3. 会　　場：　三河港竹島ふ頭及び前面水域
4. 訓練内容：　別添「実働防災訓練概要」のとおり
5. 参加機関：　中部地方整備局港湾空港部、名古屋港湾事務所、三河港湾事務所、
第四管区海上保安本部、名古屋海上保安部、三河海上保安署、
愛知県都市・交通局、三河港災害時対策会議、蒲郡市、
一般社団法人日本埋立浚渫協会中部支部、中部港湾空港建設協会連合会、
一般社団法人日本海上起重技術協会中部支部、全国浚渫業協会東海支部、
一般社団法人日本潜水協会中部支部、一般社団法人海洋調査協会、
一般社団法人港湾空港技術コンサルタンツ協会、
一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会

6.取材登録：　訓練の取材を希望される方は、下記期日までに、Microsoft Forms にて報道機関名、氏名等を登録してください。

当日の集合場所及び訓練会場への入場方法については、取材を申込みいただいた方あてに送付いたします。

取材登録先(Microsoft Forms)：
締切り：令和８年１１月２０日（金）12:00



伊勢湾 BCP 実働防災訓練　報道機関取材登録フォーム - フォームに記入する

なお、当日の天候や自然災害等により実施が困難なときは、順延もしくは中止となる場合があります。その際は、中部地方整備局港湾空港部のホームページに公表してお知らせいたします。

7.配 布 先：　中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、蒲郡記者クラブ、
中部専門記者会、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、
海事プレス、マリタイムデーリーニュース

8.問合せ先：　国土交通省 中部地方整備局港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
担当者：課長　西尾（にしお）、課長補佐　奥山（おくやま）
電話番号：052-209-6328
海上保安庁 第四管区海上保安本部 総務部総務課 広報・地域連携室
担当者：室長　松本（まつもと）、室員　加藤（かとう）
電話番号：052-661-1611

別添

伊勢湾ＢＣＰ協議会・三河港ＢＣＰ協議会・蒲郡市 実働防災訓練概要

1. 目　的

近い将来の発生が想定される南海トラフ地震による複合災害に対する関係機関の対処能力向上を目的とする。

2. 共　催　　伊勢湾ＢＣＰ協議会・三河港ＢＣＰ協議会・蒲郡市

3. 訓練日時　令和８年 11 月 26 日（木）9:30～11:40（予定）※少雨決行

（予備日）令和８年 12 月 18 日（金）9:30～11:40

4. 訓練場所　三河港 蒲郡地区 竹島ふ頭（別紙１参照）

愛知県 蒲郡市港町 19-19（ＪＲ蒲郡駅から南に約 600ｍ）

5. 訓練参加機関

中部地方整備局（港湾空港部・三河港湾事務所・名古屋港湾事務所）、第四管区海上保安本部・名古屋海上保安部、愛知県都市・交通局、三河港災害時対策会議、蒲郡市、災害協定団体｛(一社)日本埋立浚渫協会中部支部・中部港湾空港建設協会連合会・(一社)日本海上起重技術協会中部支部・全国浚渫業協会東海支部・(一社)日本潜水協会、(一社)海洋調査協会、(一社)港湾空港コンサルタンツ協会、（一社）日本マリーナ・ビーチ協会

6. 訓練想定（シナリオ）

- ✓ 南海トラフ地震が発生し、伊勢湾内の港湾所在地では、最大震度６強の地震が観測され、伊勢湾内では、最大高さ５ｍの津波が来襲した。
- ✓ 中部管内の三重県、愛知県、静岡県の沿岸は、地震と津波による大規模な被害が生じ、速やかに被災地への海上輸送ルートを確保し支援する方針となった。
- ✓ 三河湾を含む伊勢湾内の各港では津波漂流物が港内水域に分布し、港湾区域の海中にも車やコンテナなどの沈降物が確認された。
- ✓ 三河港への緊急物資輸送ルートを確保するため、三河港内の耐震強化岸壁※の利用可否判断と海上ルート上の支障物を撤去する必要があった。
- ✓ そのため、岸壁の被災状況調査・利用可否判断、道路啓開、航路啓開を実施し、緊急物資の輸送（船舶からの物資荷揚げ）を行う。

※　訓練では「竹島ふ頭２号岸壁」を耐震強化岸壁として想定。

7. 訓練内容　（別紙２「タイムスケジュール」参照）

（１）開会式（０９３０～０９４５）

- ✓ 開会挨拶（愛知県副知事）
- ✓ 災害時の関係機関の対応内容と訓練の概要を説明

（２）訓練項目及び（実施時間）【参加機関、「出動船舶・機械」】

１） 岸壁被災状況調査・利用可否判断訓練（０９４５～１０１５）

① 岸壁上部被災状況調査・岸壁利用可否判断（０９４５～０９５５）

【(株)エコー・三河港湾事務所】

✓ 陸上の被災状況を調査するためドローン映像を訓練本部にリアルタイムで共有し、測量により岸壁の利用可否判断を行う訓練。

② 岸壁の被災状況調査・システム登録訓練（０９５５～１００５）

【三河港災害時対策会議】

✓ 被災状況写真等を「災害情報共有システム」に登録し、「三河港災害時対策会議(本部：三河港務所)」にリアルタイムに共有する訓練

③ 岸壁水中部被災状況調査・岸壁利用可否判断（１００５～１０１５）

【(株)河崎海事・三河港湾事務所】

✓ 水中部の潜水士による被災状況の調査により岸壁の利用可否判断を行う訓練

２） 水域深浅測量訓練（海底沈降物等調査）（１０１５～１０２５）

【国際航業(株)・西浦シーサイドマリーナ（マリーナ・ビーチ協会所属）】

✓ 小型船舶でマルチビームソナーを曳航・操作し、海底の水深・異常物の有無を探査する訓練

３） 道路・エプロン啓開訓練（陸上段差・陥没の解消）（１０２５～１０３５）

【三河港災害時対策会議】

✓ 岸壁背後（道路・エプロン）において、液状化現象等により発生した段差及び陥没を解消する訓練

４） 航路啓開訓練（海上浮遊物除去）（１０３５～１０４５）

【名古屋港湾事務所所属「海洋環境整備船（白龍）」、名古屋港湾事務所】

✓ 三河湾内で港湾業務艇「しおさい」の先導により津波漂流物を海洋環境船により回収する訓練

５） 航路啓開訓練（海底沈降物揚収）（１０４５～１０５５）

【(株)河崎海事、「スパッド式起重機船（徳龍）】

✓ 津波により流され海底に沈降したコンテナなどの物体を揚収する訓練

６） 水域深浅測量訓練（事後測量）（１０５５～１１０５）

【第四管区海上保安本部、「測量船（いせしお）」】

✓ 海底に沈降した物体を揚収した後に船舶の安全な航行が可能か現地の水深をマルチビームソナーにより測量して確認する訓練

７） 緊急物資輸送訓練（１１０５～１１２０）

【蒲郡市・災害協定団体・名古屋海上保安部「巡視艇（あゆづき）」】

✓ 船舶の安全な航行・接岸が可能になった後に巡視艇から緊急物資を陸上トラックに輸送・積み込みを行う訓練

（３）閉会式（１１２０～１１３５）

✓ 講評（中部地方整備局 副局長）

✓ 閉会挨拶（蒲郡市長）

※事務局からアンケートへの協力依頼をして閉会

8. 安全対策

（１）訓練中止基準

✓ 訓練の中止判断は、訓練実施日の 2 日前（11 月 24 日）の 16 時までに判断し、気象状況の急変や地震など不測の事態が発生した場合は当日 26 日の 6 時に判断する。なお以下の場合は訓練を当日の中止とし、中部地整のホームページに掲載するともに訓練参加団体に連絡する。

① 風速 10m/S 以上、視程 1 ㎞以下、港内波高 1.0m 以上、潮流 1.0 ノット以上の場合

② 海難等緊急事態が発生した場合

③ 津波注意報・警報が発令された場合及び南海トラフ巨大地震臨時情報（調査中・巨大地震注意・巨大地震警戒）が発表された場合

④ 訓練主催者及び参加機関において訓練実施が困難と判断した場合

令和8年度 実働防災訓練 実施場所　三河港蒲郡地区竹島ふ頭および前面水域（愛知県蒲郡市）

別紙1









（航空写真）Google Map

防災訓練タイムスケジュール（案）

凡例　：陸上作業　：海上作業

作業	主担当	時間	備考
受付（9:00～9:30）			
開会式	中部地方整備局港湾空港部		
陸上岸壁被災調査（ドローン）・利用可否判断訓練	港コン協推薦企業：(株)エコー		
岸壁被災調査及び被災情報登録訓練（陸上）	三河港災害時対策会議		
水中部岸壁被災調査（潜水調査）・利用可否判断訓練	潜水協会協推薦企業：(株)河崎海事		
水深測量（被災調査）訓練（海上）	海調協推薦企業：(株)国際航業 マリーナ・ビーチ協会所属 西浦シーサイドマリーナ		
道路啓開訓練（陸上）	三河港災害時対策会議		
航路啓開：浮遊物撤去作業訓練（海上）	海洋環境整備船「白龍」・港湾業務艇「しおさい」		
航路啓開：沈降物揚収作業訓練（海上）	埋浚・海技協推薦企業：(株)河崎海事		
水深測量（事後測量）訓練（海上）	第四管区海上保安本部・測量船「いせしお」		
物資輸送訓練（陸上）	蒲郡市・災害協定団体・巡視艇「あゆづき」		
閉会式	中部地方整備局港湾空港部		
後片付け作業			